

キャップバックス®の接種を希望される方へ

肺炎球菌性肺炎にかかるリスクが高い方¹⁾

日本人を対象にした調査では、発症のリスクはそれぞれ以下のように示されていました。

 **65歳以上**の方は、50歳～64歳と比べて **3.2倍**

健康な方と比べて



慢性心疾患の方は、**2.6倍**



慢性肺疾患の方は、**5.2倍**



糖尿病の方は、**1.9倍**



慢性肝疾患の方は、**2.1倍**



慢性腎疾患の方は、**2.6倍**



がんの方は、**1.7倍**

肺炎球菌性肺炎を発症するリスクが高いことが19歳以上を対象に行われた調査で報告されています。

1) Imai K, et al. BMJ Open. 2018; 8(3): e018553. より作図 【利益相反】本研究はMSDからの資金提供により実施され、著者には同社の社員が含まれている。

キャップバックス®を接種できる方²⁾

① 65歳以上の方

または

② 肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高い*と考えられる成人

*リスクが高いと考えられる成人とは、以下のような状態の者を指す

1) 慢性的な心疾患、肺疾患、肝疾患又は腎疾患 2) 糖尿病 3) 基礎疾患若しくは治療により免疫不全状態である又はその状態が疑われる者 4) 先天的又は後天的無脾症 5) 鎌状赤血球症又はその他の異常ヘモグロビン症 6) 人工内耳の装用、慢性髄液漏等の解剖学的要因により生体防御能が低下した者 7) 前記以外で医師が本剤の接種を必要と認めた者

2) キャップバックス®筋注シリジン電子添文 2025年10月改訂 (第2版)

各ワクチンとの接種間隔

肺炎球菌ワクチン

過去に肺炎球菌ワクチンを接種した方は、**1年以上の接種間隔**をおいて接種することが可能です³⁾。

●ニューモバックス®NP ●PCV13
●バクニュバンス® ●PCV20



キャップバックス®

肺炎球菌ワクチン以外のワクチン

接種間隔に制限がありません。医師が特に必要と認めた場合は、**同時接種が可能**です⁴⁾。

キャップバックス® 同時接種可能

インフルエンザワクチン、
新型コロナワクチン、
帯状疱疹ワクチンなど

3) 日本呼吸器学会、日本感染症学会、日本ワクチン学会の合同委員会：65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方 (第7版 2025年9月30日)

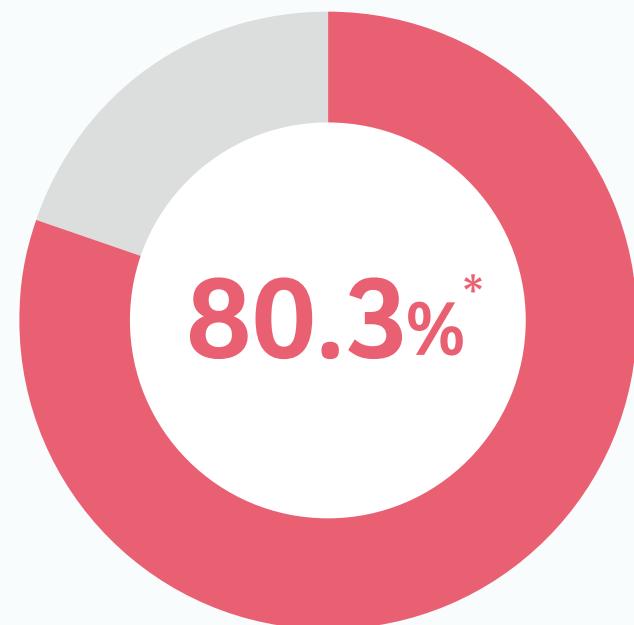
4) 厚生労働省：ワクチンの接種間隔の規定変更に関するお知らせ

肺炎球菌感染症の予防接種は、すべての肺炎を防ぐわけではありません。

肺炎球菌ワクチン接種に加えて、うがい、手洗い、マスクの着用など、日常生活での感染予防も続けましょう

キャップバックス®の接種を希望される方へ

キャップバックス®は2024年に
侵襲性肺炎球菌感染症の原因となった血清型を
80.3%カバーしました。



■ キャップバックス®がカバーする血清型
■ キャップバックス®がカバーしない血清型

*: 血清型15Bを除く

「成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの強化のための研究」: 2025-2027年度 (予定) <https://ipd-information.com/adult/overview/> (2025年10月30日アクセス) より改変
本調査は15歳以上の患者において行われたサーベイランスである。

キャップバックス®は
結合型ワクチンです¹⁾。

免疫記憶に関与する、メモリーB細胞を形成します²⁾。

● 結合型ワクチンと莢膜多糖体ワクチンのちがい²⁾

	結合型ワクチン	莢膜多糖体ワクチン
B細胞の親和性成熟	(+)	(-)
メモリーB細胞の形成	(+)	(-)
長寿命形質細胞の形成	(+)	(-)

1) キャップバックス®筋注シリンジ電子添文2025年10月改訂 (第2版)
2) 佐藤光他. 日化療会誌. 2020; 68(4): 518-531より作図